

Fukuoka City Public Library Movie Hall
福岡市総合図書館映像ホール

シネラ

Ciné-là NEWS

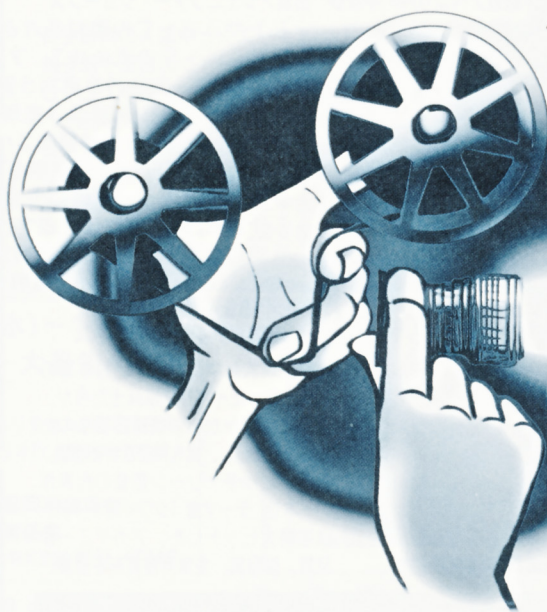
シネラ・ニュース

December.1999 No.41

12

特別企画

小型映画の世界



映画上映の現場を覗いてみると、そこには映写機と一体化した人間の手が存在することに気付く。フィルムとの感触を直接感じながらの作業が続く。「小型映画の世界」／イラスト&文 山下良平

[特別企画]

ウエスト・ミーツ・アジア

[講演会]

村上由見子 特別講演

ハリウッド映画に見るアジア人の肖像

[映像セミナー]

松本俊夫 公開セミナー

映像作家と小型映画



マン・レイ「ひとで」



衣笠貞之助「十字路」



WEST meets ASIA

特別企画

会 期：12月1日(水)～12日(日)

観覧料：800円(大人)

600円(大学生・高校生)

400円(中学生・小学生)

※休館日・休映日を除く

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の提示が必要です。)

慕情

Love is a Many-Splendored Thing

1955年/35ミリ/カラー/102分/アメリカ

監督/ヘンリー・キング 出演/ジェニファー・ジョーンズ



日本語字幕付き

イギリス人と中国人の両親を持つハン・スーインの自伝小説を映画化した作品。夫を戦争で亡くし香港の病院で働く中国系の女医と、アメリカ人従軍記者との恋愛が甘美なテーマ曲によって描かれる。アカデミー主題歌賞、衣装デザイン賞受賞。

1日(水)14:00
4日(土)11:00
8日(水)19:00

戦場に かける橋

The Bridge on the River Kwai

1957年/35ミリ/カラー/155分/イギリス

監督/デビッド・リーン 出演/アレック・ギネス



日本語字幕付き

第二次大戦中のビルマ。日本軍の捕虜となったイギリス軍兵士たちが、クワイ河にかかる架橋建設工事のために一致団結し、橋を完成させる物語。名匠デビッド・リーン監督の代表作の一本で、テーマ曲「クワイ河マーチ」は当時大ヒットした。アカデミー作品賞、監督賞、主演男優賞等を受賞。

5日(日)15:00
8日(水)14:00
10日(金)18:30

東京画

Tokyo-Ga

1985年/35ミリ/カラー/93分/西ドイツ

ドキュメンタリー 監督/ヴィム・ヴェンダース



日本語字幕付き

ヴェンダース監督が敬愛する小津安二郎監督へのオマージュを捧げたドキュメンタリー。ヴェンダース監督が旅する東京の風景、東京の人々との出会いが旅日記風に綴られる。そして小津監督ゆかりの人々へのインタビューを織り交ぜながら、小津安二郎の世界に迫って行く。

3日(金)14:00
12日(日)11:00

ウルガ

Urga

1991年/35ミリ/カラー/119分/フランス

監督/ニキータ・ミハルコフ 出演/バヤルト



日本語字幕付き

モンゴルの大草原で暮らす遊牧民、ゴンボと家族達。ある日ゴンボはロシア人のトラック運転手セルゲイと出会い、二人の間は奇妙な友情が生まれる。ロシア人監督ニキータ・ミハルコフがフランス資本により完成させた作品で、人間への愛情溢れる作品。ヴェネチア映画祭金獅子賞。

1日(水)19:00
4日(土)15:00
10日(金)14:00

「ウエスト・ミーツ・アジア」のテーマは、欧米の監督がアジアをどのように描いてきたかである。「慕情」のヘンリー・キングはアメリカ人監督であり、「戦場にける橋」のデビッド・リーン監督と「枕草子」のグリーンナウェイ監督はイギリス人、「セブン・イヤーズ・イン・チベット」のジャン=ジャック・アノー監督はフランス人、「書かれた顔」のダニエル・シュミット監督はスイス人、「ウルガ」のミハルコフ監督はロシア人、そして「東京画」のヴェンダース監督はドイツ人である。

作品の時代もテーマも、アジアらしく多様性に満ちており、多くの作品が異文化との出会いを興味深く描いていることに気がつくだろう。ドキュメンタリーとして創られた「書かれた顔」や「東京画」は、坂東玉三郎や小津安二郎といった芸術家との出会いが、日本への興味につながっていく作品であり、「枕草子」との出会いが、グリーンナウェイ監督を東洋文化への興味に導いている。そして「セブン・イヤーズ・イン・チベット」の主人公は、チベット文化との出会いに衝撃を覚えるのだ。アジアという多様な文化とのいわば「未知との遭遇」なのである。

欧米から見てのアジアは、かつてはオリエンタリズムでしか語られない存在だった。「未知なる異境の地」が「遭遇できる未知」へと変わり、「理解できる存在」へ、そして「隣人としてのアジア」へ変わっていかなければならない。今回の特集では、その変化を僅かでも感じていただければ幸いである。

また特別講演として、ハリウッド映画におけるアジア人の描き方の変化に焦点をあて、ノンフィクション作家の村上由見子さんに検証していただく。

書かれた顔

The Written Face

1995年/35ミリ/カラー/89分/スイス=日本

ドキュメンタリー 監督/ダニエル・シュミット 出演/坂東玉三郎



日本語字幕付き

歌舞伎の女形・坂東玉三郎の世界に迫ったドキュメンタリー。「大蛇」「鴛娘」等の演目の他、杉村春子へのインタビュー、舞踏家・大野一雄との対比、そして玉三郎演じる芸者を二人の男が奪い合うフィクションが挿入されるなど、夢と現実が混然としたファンタジックな作品となっている。

2日(木)14:00
3日(金)19:00
11日(土)11:00

枕草子

The Pillow Book

1996年/35ミリ/カラー/127分/イギリス=フランス=オランダ

監督/ピーター・グリーンナウェイ 出演/ヴィヴィアン・ウー



日本語字幕付き

京都の旧家に生まれた女性ナギコ。彼女は香港でファッション・モデルとなり、そしてイギリス人と出会い恋に落ちる。10代で「枕草子」を読み衝撃を受けたグリーンナウェイ監督が、毛筆による文字にこだわり、ユニークな映像で描く愛と復讐の絵巻。※15才以下は入場できません。

9日(木)19:00
11日(土)15:00

インチベット

Seven Years in Tibet

1997年/35ミリ/カラー/136分/アメリカ

監督/ジャン=ジャック・アノー 出演/ブラッド・ピット



日本語字幕付き

オーストリアの登山家H・ハラーはヒマラヤ登山中に第二次世界大戦が勃発し、イギリス軍の捕虜となる。収容所を脱走したハラーはチベットへ到着、ダライ・ラマの家庭教師に迎えられる。チベットの街と生活を再現した大規模なセットや、雄大な自然等見所の多い作品である。

2日(木)19:00
9日(木)14:00
12日(日)15:00

特別講演「ハリウッド映画に見るアジア人の肖像」

講師：村上由見子(ノンフィクション作家)

12月5日(日)13:00～14:30

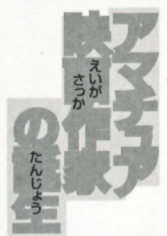
入場料：無料

※開場は開演の30分前。

村上由見子プロフィール

1951年東京生まれ。80年よりロサンゼルス日本語新聞社の出版部編集者として日米を往復。その間、日米の各紙にアメリカ・リポートを寄稿。94年～95年フルブライト客員研究員としてUCLAにて研究。主な著書に「百年の夢 岡本ファミリーのアメリカ」(新潮社)「イエロー・フェイス」(朝日選書)「イースト・ミーツ・ウエスト」(講談社)「アジア系アメリカ人」(中公新書)等がある。





15日(水)13:00

アマチュア映画作家の誕生 中山太郎
とアマチュア映画協会アンソロジー

福岡出身の中山太郎(故人)は戦後の
8ミリ全盛期にアマチュア8ミリ映画
作家として活躍、アマチュア映画四天
王の一人といわれた。中山と彼が指導
したアマチュア映画協会からのアンソ
ロジー。

パーソナルフォーカス アンソロジー

15日(水)19:00

個人映画と小型映画 パーソナル・フォーカス・アンソロジー

福岡の映像集団フィルム・メーカーズ・フィールド(FMF)
が1970年代から続ける3分間8ミリフィルムのアンテナ
パンダ「パーソナル・フォーカス」のアンソロジー。当館所蔵
の20作品に加え、今回10作品を特別追加上映する。

パーソナル・フォーカス・アンソロジー

1977年~1994年/8ミリ/30作品

15日(水)16:00 18日(土)16:00

日本の先駆的な前衛映画

~衣笠貞之助「狂った一頁」「十字路」

「地獄門」の衣笠監督による日本無声映
画時代の貴重な前衛映画二作品。海外の先
鋭的な芸術映画運動に影響を受けたこれら
の作品は、監督自らによる自主製作であり、
日本における個人映画の先駆けをなすもの
といえる。

●狂った一頁 1926年/16ミリ/59分
/モノクロ/新感覚派映画連盟

●十字路 1928年/16ミリ/47分/モ
ノクロ/衣笠映画連盟 監督/衣笠貞之助

日本の先駆的な 前衛映画

ニホンノジッケンエイガ

16日(木)19:00 17日(金)13:00

日本の実験映画1 越境者のための機械

1950年代以降、欧米の新旧前衛映画、実験映
画などの影響で日本でも多くの若手芸術家が映
像作品を製作する。詩人の谷川俊太郎、寺山修司、
音楽家の武満徹などが取って映画以外のジャン
ルから表現の拡張を目指した。

●へそと原爆 1960年/モノクロ/16ミリ/
14分/細江英公 ●かげ 1968年/モノクロ
/16ミリ/3分/林静一 ●トマトケチャッ
プ皇帝 1970年/カラー/16ミリ/30分/
寺山修司 ●休憩 1977年/カラー/16ミリ
/3分/谷川俊太郎 ●幻視景序説 1978年
/カラー/16ミリ/20分/田名網敬一

19日(日)13:30

日本の実験映画2 松本俊夫と映像メカニク

日本実験映画の作家・理論家の第一人者であ
る松本俊夫は、1980年代に九州芸術工科大の
教授として着任、伊藤高志、森下明彦らの映像
作家を輩出した。松本俊夫の福岡時代を中心と
した作品集と同時期の芸工大作品選集。

松本俊夫初期作品集

●石の詩 1963年/モノクロ/16ミリ/30
分 ●アートマン 1975年/カラー/16ミリ
/11分 ●リレーション 1980年/カラー/
16ミリ/10分 ●SIFT 1982年/カラー/
16ミリ/9分

九州芸術工科大学作品選集(松本俊夫在任期間
を中心に)

●SPACY 1981年/パートカラー/16ミリ
/10分/伊藤高志 ●THUNDER 1982年
/カラー/16ミリ/5分/伊藤高志 ●
Xénogénèse 1981年/カラー/16ミリ/
7分/森下明彦 ●Xanthopsie 1983年/
カラー/16ミリ/7分/森下明彦 ●DAYS
1981年/カラー/16ミリ/6分/稲垣洋祐
●RING 1982年/モノクロ/16ミリ/7分
/賛田(にえた)英雄



劇場で一般に見られる映画のフィルムサイズ
35ミリを標準として、これ未満のフィルムサイ
ズの映画は小型映画と総称されます。ホーム・ム
ビーやそこから派生した趣味の8ミリ映画な
どを指すことが多いこの呼称ですが、今回の企画
ではむしろ広義の「小型映画」として捉えなおし、
「小型映画」が映像文化に果たした役割や意義を
再評価していこうとするものです。なお映像セミ
ナー「小型映画の世界とその現在形」と特別展示
企画「小型映画の世界」も併せて行います。

期 間/12月15日(水)~19日(日)

観覧料/一般600円・大高生400円
小中生300円

※定員制、各回入替制。前売り券はありません。福岡市在住の
障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。

主催:福岡市総合図書館

共催:日本映像学会西部支部/福岡映像協会

後援:京都文化博物館/国際交流基金

協賛:日本エアシステム 協力:RKB映画社/FMF

16日(木)16:00 19日(日)10:30
1920年代のフランス前衛映画

1920年代のフランスで興った前衛映画運動は、画
家のダリ、写真家のマン・レイなど当時の先鋭的な美
術家、芸術家が多く参加し、様々な実験的な試みがな
され、後の欧米の商業映画に大きな影響を与えた。

●幕間 1924年/16ミリ/モノクロ/サイレント/
14分/フランス/ルネ・クレール ●パレエ・メカニク
1924年/16ミリ/モノクロ/サイレント/11
分/フランス/フェルナン・レジェ ●アネミック・

シネマ 1926年/16ミリ
/モノクロ/サイレント/
8分/フランス/マルセル・

デュシャン ●アングルシ
アの犬 1928年/モノク
ロ/サウンド版/16ミリ/
15分/フランス/ルイス・

ブニエール=サルバドール・
ダリ ●ひとで 1928年
/モノクロ/サイレント/
16ミリ/11分/フランス

/マン・レイ



上映スケジュール

12/15(水)	12/16(木)	12/17(金)	12/18(土)	12/19(日)
13:00 アマチュア 映画作家の 誕生	13:00 記録映画 1	13:00 日本の8ミリ映画の 実験映画可能性 1	10:30 『虚港』前衛映画	10:30 1920年代の フランス 『狂った一頁』 『十字路』
16:00 『狂った一頁』 『十字路』	16:00 1920年代の フランス 前衛映画	16:00 記録映画 2	13:30 記録映画 1	13:30 日本の 実験映画 2
19:00 パーソナル フォーカス アンソロジー	19:00 日本の 実験映画 1	19:00 『狂い咲き サンダーロード』	16:00 『狂った一頁』 『十字路』	16:00 松本俊夫 セミナー (裏面参照)

16日(木)13:00 18日(土)13:30

記録映画1 教育映画と個人・グループによ
るドキュメント

16ミリ映画は学校や社会
人教育のための教材などとし
て幅広く活用され、専門の映
画会社も多数あった。また個
人や団体の社会啓発や問題提
起などのために作品製作を行
う際にも16ミリ映画は活用
され、そこから多くの映画作
家が生み出された。

●月の輪古墳 1953年/モ
ノクロ/16ミリ/29分/「月
の輪古墳」製作委員会 構成
/荒井英郎 ●教室の子供た
ち 1955年/モノクロ/
16ミリ/29分/岩波映画 演出・脚本/
羽仁進 ●かえるの発生 1955年/モノ
クロ/16ミリ/11分/岩波映画 演出・
撮影/吉田六郎 ●干潟のある海 諫早湾
1988 1992年/カラー/16ミリ/52
分/イワプロ 演出・撮影/岩永勝敏

12月17日(金)16:00

記録映画2 進行形のドキュメント

社会運動の推進と理解のためのメディア
として、小型映画は大きく活用された。運動
側から、そのときどきの速報的な記録を作り、
支援者とともに各地で上映するという形式
がとられた。このような進行形のドキュメ
ント映画から2作品を上映。

流血の記録-砂川

1956年/カラー/16ミリ/51分/日本
ドキュメント社 監督/亀井文夫

三里塚・第三次強制測量阻止行動

1970年/モノクロ/16ミリ/50分/小
川プロ 監督/小川紳介

自主製作から劇場へ

17日(金)19:00

当時の自主製作映画界の第一人者だった石井聰互が、
二つの自主プロダクションの提携作品として自主製作し
た作品。その後、東映が配給権を買い取り、16ミリから
35ミリにブローアップして全国の劇場で一般公開された。

狂い咲きサンダーロード

1980年/カラー/35ミリ/98分/狂映社+ダイナマ
イトプロ 監督/石井聰互

18日(土)10:30

8ミリ映画の可能性「虚港」

8ミリ映画だけを長短
編あわせて50作品以上
発表し、現在も8ミリに
こだわった創作活動続ける山崎幹夫の代表長編の一つ。
私的ドキュメンタリーを装いながら進行するフェイク・
ドキュメンタリー・エンターテインメント。

●虚港 1996年/パートカラー/8ミリ/80分
監督/山崎幹夫



映画と著作権のちょっとした話

かつてフリッツ・ラングは「映画監督に著作権はない」と言い、「Shall We ダンス?」でビッグヒットを飛ばした周防正行監督は、いくら映画がヒットしても監督には1円も入らないと嘆いている。映画とはフィルムという物であると同時に、著作権という権利の集合体でもあるのです。今回は普段皆さんにとっては縁の少ない、この著作権についてのちょっとしたお話です。

映画を作るのは映画監督を含めたプロダクションです。そして上映するのは映画館ですが、この間に入って映画を映画館に配給するのが配給会社です。配給会社が外国から映画を買う場合、フィルムを焼き増しするのは当然ですが、それとは別に権利交渉を行います。映画館で上映するのか、テレビで放映するのか、ビデオは販売するのか、公民館等で上映するのか、などなどです。これはそれぞれ別の権利であり、最近のビデオ会社ではビデオ販売権は買っても映画館での上映権を持たず、せっかくの映画が映画館で上映できないというケースもあります。権利をたくさん買えば買うほど、映画の金額が高くなるからです。

そしてこの権利交渉をする相手は通常プロデューサーです。映画の芸術的な責任は監督にあるわけですが、商業的な責任はプロデューサーにあり、したがって著作権を代表するのはプロデューサーであると決められています。プロデューサーは監督に対して監督料を支払えば、後はすべてプロデューサーの利益になるため、先の周防監督の嘆きのようなことが起こるわけです。もっとも映画がヒットしなければすべて借金となるわけですから、難しい問題とも言えます。「タイタニック」のような作品を買う場合は1億円を越える金額が必要ですが、それでも配給会社は購入します。逆に百万円でも見向きもされない映画もたくさんあります。映画の権利にいったいいくらの値段をつけるのか。そこには配給会社の長年の経験と、虚虚实実の駆け引きの世界があるのです。図書館も映画を購入する時、この配給会社とつき合わねばならないことがあります。相手のベースにはまらず、図書館の仕事の重要性を説く、簡単そうで難しい仕事だと、常々感じています。

学芸員 八尋義幸

お知らせ

INFORMATION

ミニシアター
84 Charing Cross Road

1986年/カラー/99分/日本語字幕なし
監督/デイヴィット・ジョーンズ David Jones
出演/アン・バンクロフト Anne Bancroft
アンソニー・ホプキンス Anthony Hopkins
ほか

日時:12月11日(土)14:00~

会場:福岡市総合図書館ミニシアター
観覧料:無料

お問い合わせ/092-752-3750 プリティッシュ・カウンシル福岡
※この作品は10月上映予定を延期した分です。

各団体の自主上映

12月23日(木) 13:30/16:00
「高校三年生」(監督:井上芳夫、84分)
観覧料/当日990円

主催/W.L.C 福岡
(Tel.092-741-7687 瓜生史郎)

12月26日(日)
渋谷実監督特集

「現代人」(112分) 11:30
「気違い部落」(135分) 14:30
観覧料/当日(1本につき)1,000円
主催/電ノコニ刀流

(Tel.092-741-1520 明石誠)

※自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を掲載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は平成12年1月号より平成12年3月号迄の郵便切手(90円×3枚)を同封の上、下記宛先までお申し込み下さい。

宛先:〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1

福岡市総合図書館 映像資料課

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラで自主上映(非営利に限る)を希望される方は、下記のとおり利用申し込みの受付を行いますのでお申し込みください。

○利用申込対象期間

平成12年5月から同年11月まで(各月の月末週の水曜日~日曜)
※但し、上記期間中の月末休館日は除く

○申込受付期間

平成11年12月1日(水)~12月14日(火)
※休館日を除く

○抽選日

平成11年12月18日(土)午前11時より

○抽選会場

福岡市総合図書館・3階第2会議室

○利用申込用紙

福岡市総合図書館で配布中

お問い合わせ

福岡市総合図書館映像資料課(事業係)
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
TEL 092-852-0608 FAX 092-852-0609

映像セミナー

①「映像作家と小型映画」12/19(日)16:00
講師 松本俊夫(日本映像学会会長)

※このセミナーのみ公開セミナーのため、一般入場(有料)できます。

②「小型映画の歴史と意義」12/23(木)13:30
講師 那田尚史(映像作家)

※会員制セミナーです。

③「小型映画の機械史とその現在形」

12/26(日)13:30

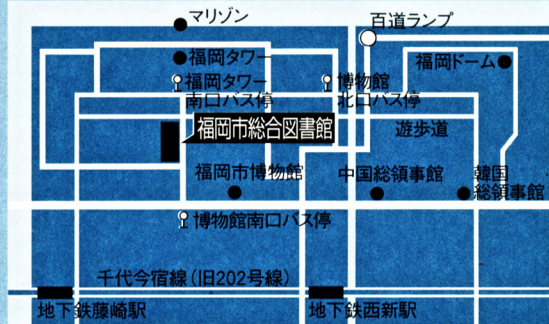
講師 昼間行雄(映像作家)

※会員制セミナーです。

お問い合わせ/092-852-0608映像資料課

上映スケジュール

12月	1 水	14:00 慕情	19:00 ウルガ
	2 木	14:00 書かれた顔	19:00 セブン・イヤーズ・イン・チベット
	3 金	14:00 東京画	19:00 書かれた顔
	4 土	11:00 慕情	15:00 ウルガ
	5 日	13:00 村上由見子講演会	15:00 戦場にかける橋
	6 月	休館日	
	7 火	休映日	
	8 水	14:00 戦場にかける橋	19:00 慕情
	9 木	14:00 セブン・イヤーズ・イン・チベット	19:00 枕草子
	10 金	14:00 ウルガ	18:30 戦場にかける橋
	11 土	11:00 書かれた顔	15:00 枕草子
	12 日	11:00 東京画	15:00 セブン・イヤーズ・イン・チベット
	13 月	休館日	
	14 火	休映日	
	15 水	13:00 アマチュア映画作家の誕生	16:00 狂った一頁・十字路
	16 木	13:00 記録映画1	16:00 フランス前衛映画
	17 金	13:00 日本の実験映画1	16:00 記録映画2
	18 土	10:30 虚港	13:30 記録映画1
	19 日	10:30 フランス前衛映画	13:30 日本の実験映画2
	20 月	休館日	
	21-22 火水	休映日	
	23 木	13:30 映像セミナー②(総合図書館3F)	自主上映「高校三年生」
	24-25 金土	休映日	
	26 日	13:30 映像セミナー③(総合図書館3F)	自主上映「現代人」「気違い部落」
	27 月	休館日	
	28 火	年末・年始の休館日	
	1/4 火		



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス: 天神~都市高速経由~福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約20分)

博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセン

ター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑誌

先のアジアフォーカス・福岡映画祭の折には外国からの監督・俳優等の視察者が目立った。また、インターネットの開設によりこのニュース内容を広く内外に発信しているが、反響も高い。一層、国際性と同時に市民に密着した地域性を併せ持つシネラをめざしたい。(Kimoto)

お詫びと訂正

11月号「植山節考」出演者の「緒方拳」は「緒形拳」の誤りでした。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>